

箕面市学力実態調査の結果について【国語科】

箕面市教育センター

「平成18年度学力実態調査」の結果について

概要

- ・教科総合点においてかなり良好である。
- ・「書く能力」「読む能力」の観点ではA評定の割合が高い。
- ・小領域の「表現や構成を工夫して書くこと」「要約しながら要点を読み取ること」「漢字を正しく覚えて使うこと」では、全国比をかなり上まわる良好な得点率であった。

平成13年度より 比較について

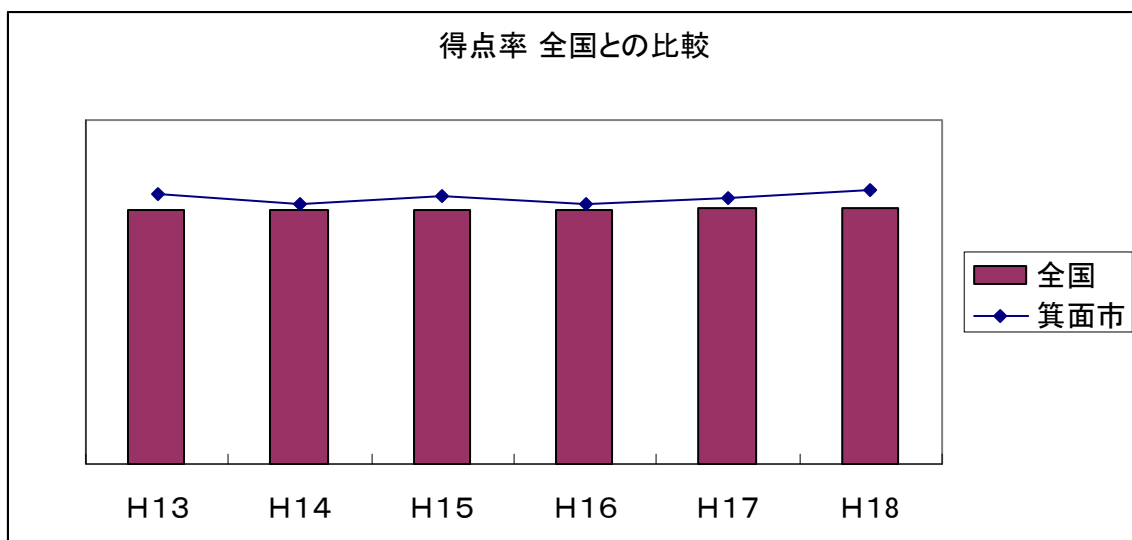
概要

○得点率等の比較

得点率を比較するに当たっては、全国得点率と上下5ポイントの幅を設定し、この幅に収まっていれば「全国と同程度と考えられるもの」、この幅を超えていけば「全国より上回っていると考えられるもの」、その幅までに達していなければ「全国を下回ると考えられるもの」とした。

○平成13年度より学力実態調査を実施しているが、平成14年度より新学習指導要領実施の際、評価観点に変更があったため、同観点での比較ということで、平成14年度実施分より分析する。

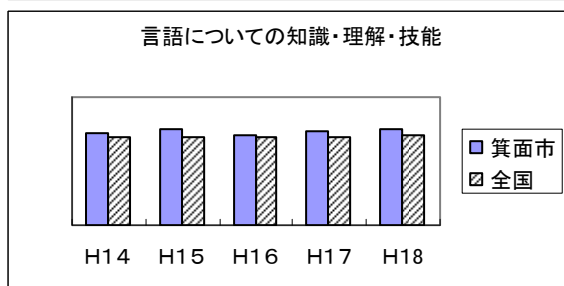
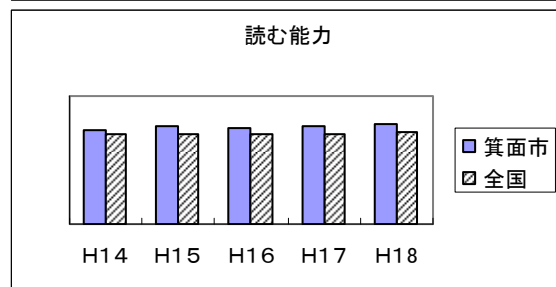
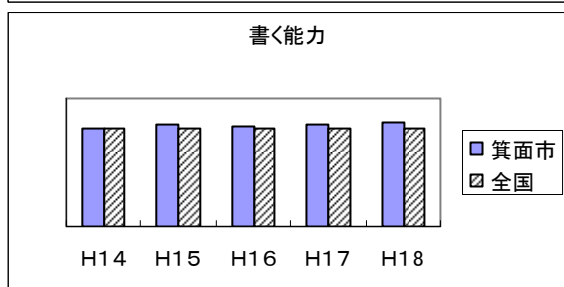
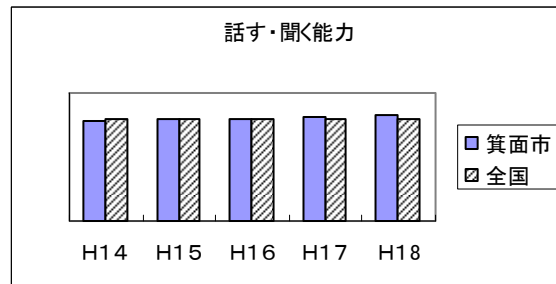
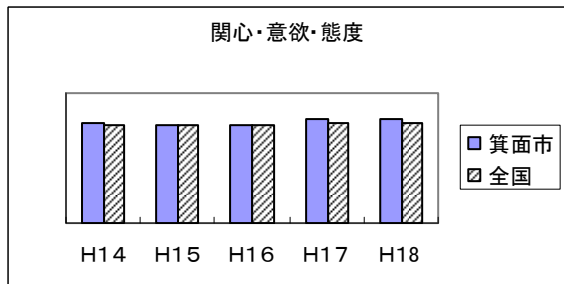
○全国得点率比較から



全国得点率に対して、おおむね良好であると考えられる。特に平成18年度実施結果において、約5ポイント上回っており、全国より上回っていると思われる。

このデータからも、おおむね良好であると考えられる。

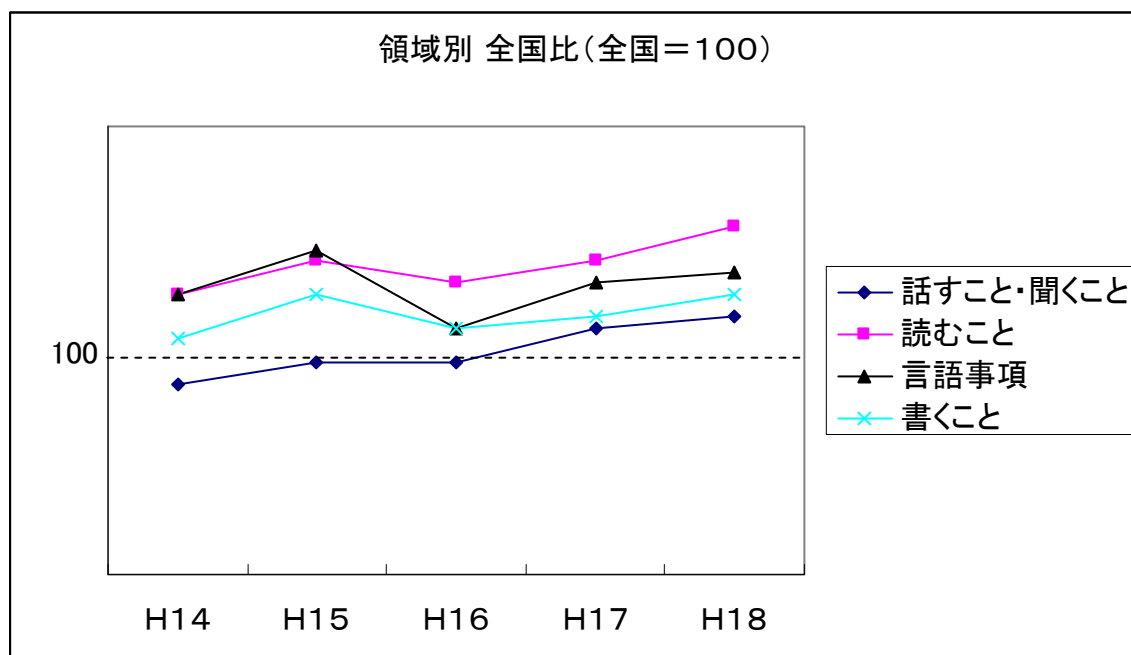
○観点別得点率比較から



全国より上回っていると考えられるもの	
平成15年度	読む能力
	言語についての知識・理解・技能
平成17年度	読む能力
平成18年度	読む能力
	言語についての知識・理解・技能
全国を下回ると考えられるもの	
なし	

どの観点においても、全国と同程度であると考えられる。読む能力等全国より上回っているものもあり、一定の成果であると思われる。

領域別 全国比 比較 (全国を100としたときの比率) から

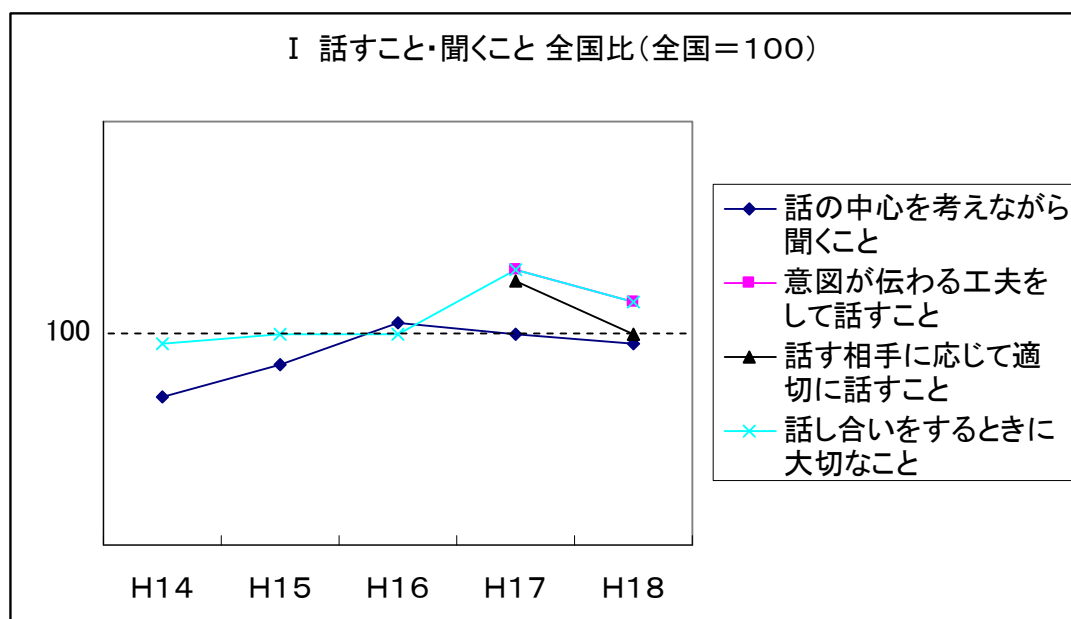


読むこと等、全国を上回っていると思われ、成果と見られる。

話すこと・聞くことに関して、平成14年度～16年度と若干下回っていた時期があったものの、その後次第に回復をみせている。しかしながら、4領域の中では課題があるととらえることにより、今後一層授業の改善を追求する必要がある。

2 小領域別 全国比 比較から

I 話すこと・聞くこと

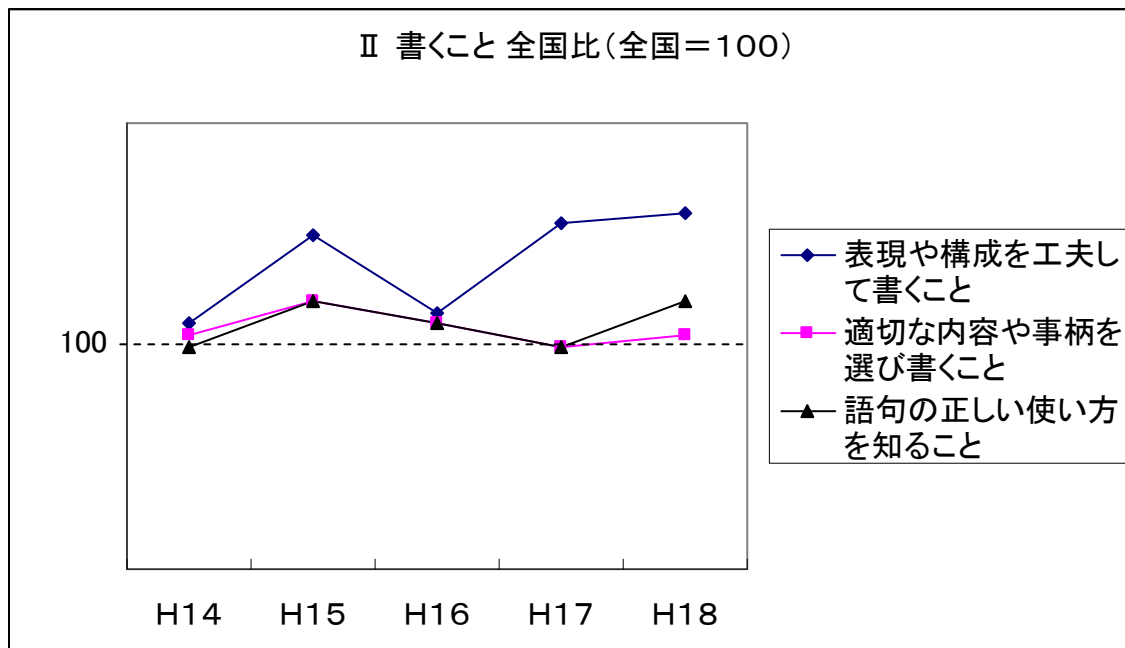


「話の中心を考えながら聞くこと」に課題が見られたが、平成18年度にはほぼ全国と同程度まで改善されたと考えられる。

話すこと・聞くことの小領域において、おおむね良好であると考えられるが、他の小領域に比

べ、若干低く感じられる。

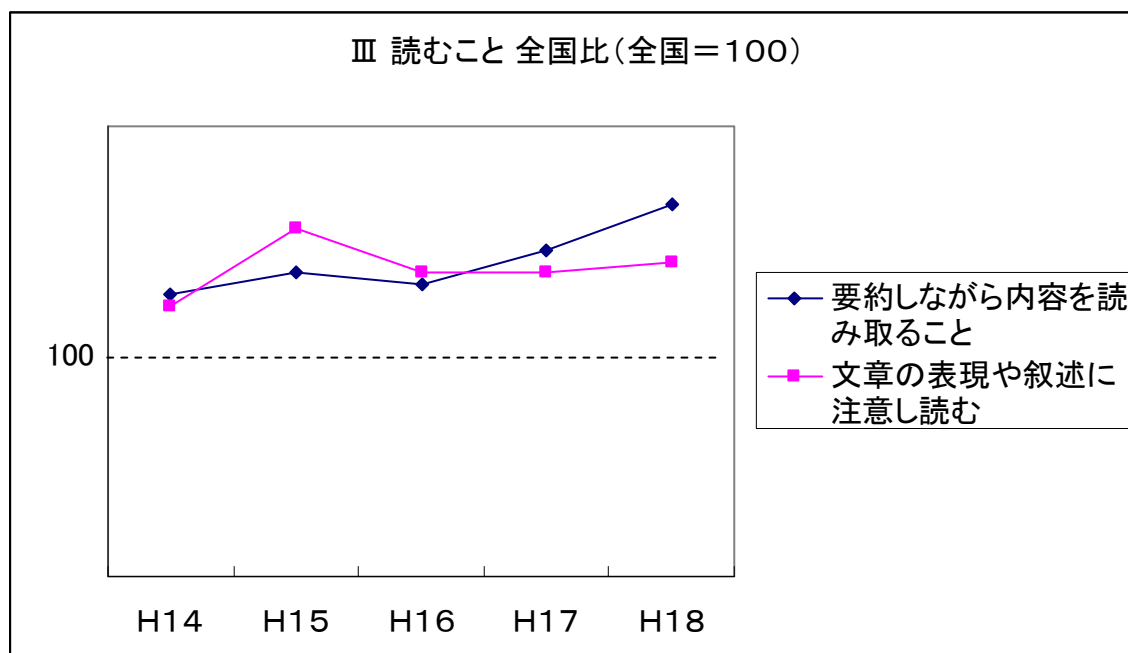
II 書くこと



書くことについて、全国比で考えると同程度であると思われる。

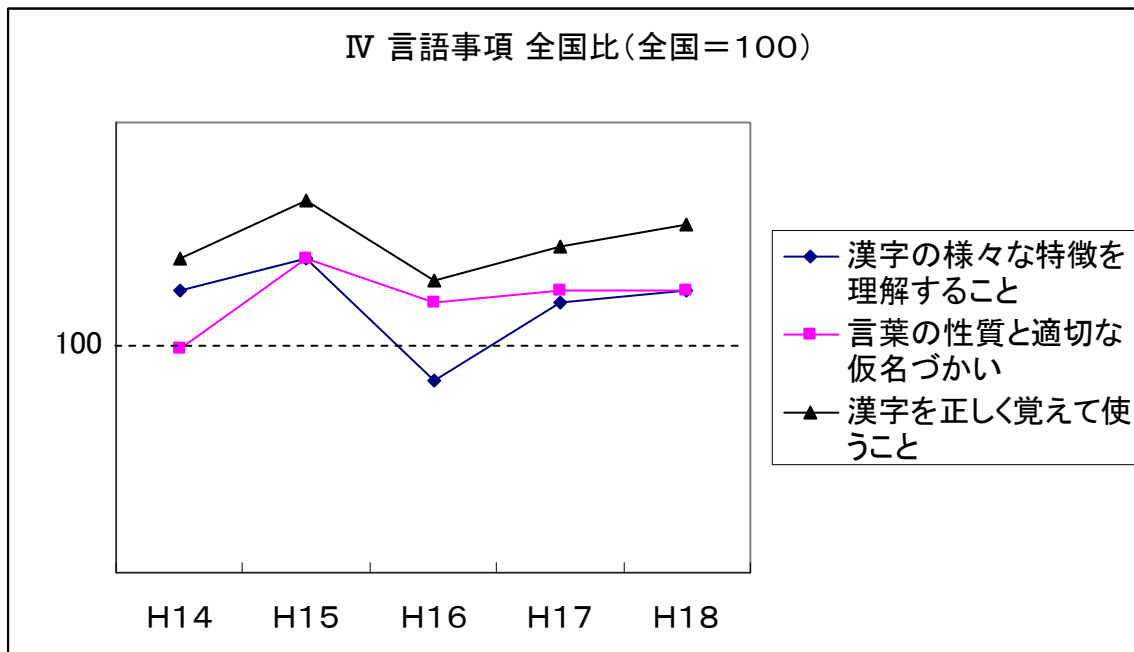
「表現や構成を工夫して書くこと」では、全国との関係において非常に良好であると考えられる。しかしながら得点率でみると平成14年度では6割程度であったが平成18年度の7割程度となり改善もみられるが、今後努力が必要である。

III 読むこと



読むことの小領域について、平成14年度当初より、良好であると考えられる。特に「要約しながら内容を読み取る」については、全国との比較において力がついてきたといえよう。

IV 言語事項



言語事項について、特に漢字を正しく覚えて使うことについて、良好であると考えられる。「漢字の様々な特徴を理解すること」について、得点率でみると平成16年度には5割強であり、平成18年度においても6割程度となっている。今後の努力が求められる。

○小問分析 通過率

「全国を下回ると考えられるもの」

年度	小領域	問題内容
平成14年度	話の中心を考えながら聞くこと	内容の聞き取り
		まとめの聞き取り
	話し合いをするときに大切なこと	スピーチに大切なこと
平成15年度	話の中心を考えながら聞くこと	内容の聞き取り
		スピーチに大切なこと
		適切な言葉遣いで話す
平成16年度	話し合いをするときに大切なこと	適切な言葉遣いで話す
		漢字の由来・象形文字
		漢字の由来・形成文字
平成17年度	要約しながら内容を読み取ること	以来の手紙に必要な事
	漢字を正しく覚えて使うこと	漢字の由来・形成文字
平成18年度	話し合いをするときに大切なこと	スピーチする時の注意
	漢字を正しく覚えて使うこと	漢字の由来・形成文字

漢字指導を単なる表記指導と考えないで語彙指導としての側面を重視した指導が望まれる。

「箕面市教育センター 研究紀要」をご覧ください。

研究紀要 タイトル

平成14年度「論理的な思考力をつける指導方法の研究」(H13年度 分析結果より)
平成15年度「伝え合う力を高める指導方法の研究」(H14年度 分析結果より)
平成16年度「伝え合う力を高める指導方法の研究」(H15年度 分析結果より)
平成17年度「読む力を高める指導一文の構成・工夫に着眼した読みの力をつける指導」
(H16年度 分析結果より)
平成18年度「【話すこと・聞くこと】の力の育成を意識した授業実践」
(H17年度 分析結果より)

平成16年度 ○国語

教科総合点において、概ね良好である。

観点別では、「読む能力」の得点率が高いが、「話す・聞く能力」の得点率が全国得点率より少し低い結果となっている。

平成17年度 ○国語

- ・教科総合点において、おおむね良好である。
- ・今まで全国比で劣っている領域について、ほぼ改善された。
- ・小領域の「表現や構成を工夫して書くこと」「要約しながら内容を読み取ること」では、全国比でかなり良好な得点率であった。